

防コミの歩き方



地域のつながり・顔の見える防災訓練 ～ 高津橋ふれあいのまちづくり協議会～

高津橋防災福祉コミュニティは、高津橋小学校校区内を拠点に活動しております。

高津橋地区は高低差のある街並みで田畑が多く、貯水池・用水路が点在しています。街の西側には明石川が流れ、平素から河川氾濫には重点的に注意すべき地域と思っています。

●防災の歩み見て・聞いて・体験」学びの視察研修

三木市の実大三次元震動破壊実験施設(Eーディフェンス)を視察しました。「いつ起きるかわからない地震」では我が家を想定して研修施設見学をしました。一瞬で破壊する地震の力と恐ろしさを体験することができました。

京都市市民防災センターでは、水圧のかかった非常扉開放や車からの脱出がいかに困難であるか体験し、アンダーパスが冠水した場合の危険性を知る良い経験ができました。

姫路陸上自衛隊の見学では、自衛隊員から過去の災害現場の活動状況や過酷な救助活動の内容を知ることができました。

●おたすけガイドワークショップ研修

おたすけガイドを活用して災害時の初動行動について研修しました。

司令塔役を2人配備して会場入り口で指示を受けワークショップ会場の設営、非常食の準備、非常食の配布等それぞれの役割を果たしました。

●災害時ペットと共に避難するには 備えよう、考えよう

プロの訓練士を迎え救助犬も参加してのグループディスカッションを実施しました。避難所によっては、さまざまな問題がありペットの受け入れが困難な場合があります。災害時の行動・飼い主の心得などを学ぶことができました。

●今後の防災活動に向けて

「災害に遭遇した場合」「減災に立ち向かうには」「自分の命を守るには」を原点と考え、知恵を出し合い果たすべき役割を一層強く担っていけたらいいなと思っています。

(高津橋ふれあいのまちづくり協議会

防災部会長 犬飼好子)

